



# 緑陰通信

～県立図書館に行こう～

News from the shade of trees

※緑陰通信は県立図書館のホームページ  
(<http://www.lib.pref.miyazaki.jp/>) からご覧いただけます。

【連絡先】  
宮崎県立図書館  
総務・企画課  
TEL : 0985-29-2956

- 伊藤一彦県立図書館名誉館長特別寄稿 (第3回)  
「青いレモンの島で」 ..... P2
- こども読書週間  
国立国会図書館デジタル化資料が利用できます! ..... P3
- 移動図書館車「やまびこ」60周年!  
第1回「緑陰コンサート」開催!! ..... P4
- イベントのご案内  
「図書館ブログ」をご存じですか!? ..... P5
- 郷土の歴史や文化にふれてみませんか?  
特別展「日向国の災害史」について ..... P6
- 新着図書案内 ..... P7
- 使って便利! 図書館サービス ..... P8



福岡アメリカ領事館首席領事による  
英語の絵本読み聞かせ (5/10)



企画展「武士の本棚」(4/29～6/8)  
児童社会見学の様子



緑陰コンサート (5/3)  
木花中学校吹奏楽部による演奏

## 「ふるさと宮崎を学びませんか」

置県130年記念「宮崎の魅力実感! 美・図・博3館見学ツアー」募集中!

【お問い合わせ】 宮崎県総合博物館 総務課 TEL0985-24-2071



# 「伊藤一彦県立図書館名誉館長 特別寄稿(第3回)」

## 「青いレモンの島で」

宮崎県立図書館名誉館長

伊藤 一彦



愛媛県今治市にある岩城島を初めて訪れた。岩城島といっても知っている人は多くないだろうか。いまは「青いレモンの島」の名で柑橘類の栽培が盛んな島として知られるが、若山牧水ファンなら第六歌集『みなかみ』の原稿を浄書した島として記憶にあるだろう。

早稲田卒業後も東京で生活していた牧水は、故郷坪谷の父親が危篤との知らせをうけて、急ぎ帰ってくる。父親は結局世を去ってしまうのだが、その十ヶ月ほどの故郷滞在時の作品が『みなかみ』の歌である。

ふるさとの尾鈴の山のかなしさよ秋もかすみのたなびきて居り

この有名な歌は『みなかみ』の巻頭歌である。「かなしさよ」に万感の思いがこめられている。調べの美しさが印象に残る。

『みなかみ』には実はこういう調べの美しい歌は少ない。故郷での苦悩の日々は牧水に破調や自由律の歌をつくらせた。つまり、五句三十一音をきちんと守っていない歌、というより敢えてきまりを破った歌である。二首ほど引いてみよう。

納戸の隅に折から一挺の大鎌あり、<sup>なんぢ</sup>汝が意志をまぐるなといふが如くに  
真黒な布<sup>きれ</sup>で部屋を張りつめ、椅子も机も、服までも黒くしたい

こういう内容の歌集『みなかみ』の原稿の浄書を上京する途中に瀬戸内海の岩城島で行ったのである。その島には三浦敏夫という若い友人が暮らしていて、牧水を温かく迎えてくれた。牧水は「島三題」という文章にこのときのことを書いているので、関心のある方は読みたい。(牧水随想集『樹木とその葉』に収められている。私の編集した『郷里の山河』にも収録している。)

岩城島は美しい海に囲まれた若葉輝く島だった。かつて島本陣だった三浦邸は、いまは「岩城郷土館」として保存されていた。

私が岩城島を訪れたのは「しまなみ海道 歌の旅」シンポジウムが岩城島のすぐ近くの伯方島で開かれたからだった。伯方島は牧水の友人だった歌人吉井勇が長く滞在したことのある島である。吉井勇研究家の細川光洋氏とのパネルディスカッションで「牧水と勇にとって島とはどんな意味をもっていたのか」を話し合った。

東京からゲストとして来てくださったのが『源氏物語』の優れた研究者であり、幅広い文芸活動を展開している島内景二氏である。日ごろ尊敬している島内氏の話聞くことができ嬉しかった。光源氏に「明石」が必要だったように、牧水と勇にもそれぞれ岩城島と伯方島という「明石」が必要だったのではないかとシンポジウムを見事に総括された。

島内氏は長崎県佐世保の出身で、九州に深い愛情を抱いている。そして、九州出身の作家が書いた作品に注目を寄せている。八女出身の安部龍太郎氏が昨年の『等伯』(日本経済新聞社)で直木賞を受賞したとき、「オール読物」三月号に寄せた文章に私は感銘した。その島内氏の解説つきで最近出た、小倉出身の葉室麟氏の『川あかり』(双葉文庫)は時間を忘れて読みふけってしまった涙と笑いの時代小説であった。

## こども読書週間

4月23日はこども読書の日でした。毎年、この日を含んだ約3週間を「こども読書週間」として、全国の公共図書館などがいろいろな催し物を企画しています。

県立図書館では、4月27日に先日紫綬褒章に選ばれたボランティア団体「布の絵本たんぽぽの部屋」のスタッフにお願いして、布のおもちゃをつくろうというワークショップを開催しました。

ワークショップでは、おもちゃ製作はもちろんのこと、参加された親子同士が育児について話したり、スタッフの方々が母親の先輩としてアドバイスしたりする場面があり、和気あいあいとした雰囲気の中、楽しい時間となりました。

また4月29日には、熊本からお呼びした「NPO法人子育て支援ワーカーズペペペらん」代表・高野和佳子さんによる絵本の読み聞かせとわらべ歌の実演を交えた読み聞かせ講座を開催しました。

読み聞かせ講座では、高野さんの実体験を交えた楽しいおはなしと選書の仕方、読み聞かせの方法のアイデアなど、親だけでなく子どもと本に関わる人たちにとっても実践したい有意義な内容でした。

いずれも連休中にもかかわらず、たくさんの親子が参加をしてくださいました。

県立図書館は、今年度も子どもの楽しい読書を応援して、家庭や地域での子どもの読書活動の推進を図って参ります。



布のおもちゃの完成品



読み聞かせ講座の様子

## 国立国会図書館デジタル化資料が利用できます!



データベースコーナーのパソコンで閲覧できます

宮崎県立図書館では、4月より国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを開始しました。

これは、国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な資料（市場に流通在庫がなく、一般的に図書館において購入が困難なもの）について、国立国会図書館から送信されるデジタル画像にて図書館で閲覧等ができるというサービスです。4月のサービス開始以来、すでにたくさんの方々にご利用いただいております。

著作権の範囲内での複製（印刷）も可能ですので、調べ物や研究などにご活用ください。

### ● 利用できる資料（平成26年1月21日時点）

- ・図書 昭和43年までに受け入れた図書約50万点
- ・古籍 明治期以降の貴重書等約2万点
- ・雑誌 平成12年までに発行された雑誌約67万点  
(商業出版されていないもの)
- ・博士論文 平成3～12年度に送付を受けた論文約12万点  
(商業出版されていないもの)

### ● 利用条件

宮崎県立図書館の利用者登録（貸出利用券）が必要です。

### ● 利用方法

宮崎県立図書館1階閲覧室4番カウンターでお申し込みください。「データベースコーナー」のパソコン（2台）で閲覧することができます。

### 【複製について】

- 複製料金 1枚10円（白黒）50円（カラー）
- ・複製申込書にて、4番カウンターへお申し込みください。
  - ・著作権法の範囲内で複製が可能です。
  - ・複製作業は職員が行います。
  - ・複製枚数が多い場合や混雑している場合は、当日複製物をお渡しできない場合がございます。どうぞご了承ください。

# 移動図書館車「やまびこ」60周年!

宮崎県立図書館では、市町村における読書普及活動及び読書環境整備を支援し、県全体の均衡ある読書環境整備を図ることを目的とした取組を行っています。その一つとして、移動図書館車により県内の小・中学校や特別支援学校、町村立図書館・図書室等を巡回し、配本する事業を行っており、この移動図書館車の名前を「やまびこ」と言います。

この「やまびこ」という名前は昭和28年12月17日、約700通の応募の中から命名されたものです。昭和29年に運用を開始した移動図書館車「やまびこ」は、今年60周年を迎えました。

4月7日から20日まで、当図書館にて企画展を行い「やまびこ」の歴史の一端を紹介しましたので、ご覧になられた方もいらっしゃると思いますが、ここで「やまびこ」の歴史を振り返ってみたいと思います。



夜の上映会の様子

当初、テレビのない時代に心の糧となる文学書・教養書や産業技術に関する図書を運び、昼は貸し出しを行い、夜はレコードコンサート・映写会・読書座談会・子どものための紙芝居などの文化的活動を行っていました。人々は「やまびこ」の訪問を心待ちにしていたそうです。

ボンネットバスの初代「やまびこ」から代を重ね、現在は6代目の「やまびこ」が活躍しています。6代目「やまびこ」は、最大約3000冊の蔵書を積むことができ、車椅子リフト・昇降ステップ・車椅子考慮の通路など障がいのある方に優しい車となっています。



◀初代「やまびこ」

▼6代目「やまびこ」(現行)



現在は町村支援事業、学校支援事業を行っており、平成25年度には、県内53ヶ所を巡回し、年間約1万キロを走行しました。「やまびこ」に載せていく図書は一般閲覧用の書庫とは別の場所にあります。そこはBM書庫(Book Mobile)と呼び、「やまびこ」や「市町村立図書館・図書室」「読み聞かせ団体」など団体貸出専用の書庫となっています。県立図書館には約70万冊の蔵書がありますが、BM書庫には、そのうち約5万冊の蔵書があります。この蔵書の中から、各学校や図書館図書室等の要望を受けて、「やまびこ」に配架しています。

60周年を迎えた今年も「やまびこ」は走り続けます。

## 第1回「緑陰コンサート」開催!!

5月3日(土) 憲法記念日、今年度の第1回緑陰コンサートが行われました。

第1部は、宮崎市立木花中学校吹奏楽部の皆さんの演奏で開幕し、「にんじやりばんばん」等のヒット曲にお客さんも思わず口ずさんでしまう場面も見られました。

第2部は、NHK宮崎放送局の和田光太郎アナウンサー、竹田瞳キャスターの2人による朗読でした。「ぼくひこうきにのったんだ」、「ロンパーちゃんとふうせん」、「どもだちは緑のにおい」の3作品の朗読が行われ、本の世界をアナウンサーがたの巧みな話術で楽しむことができました。

最後に第3部として、木花中学校吹奏楽部の演奏が再び行われ、アンコールでは「恋するフォーチュンクッキー」が演奏され、来場の方々も一体となって盛り上がりました。

好天にも恵まれ、160人を超える方にお越し頂きました。ありがとうございました。

右記のとおり、第2回・第3回のコンサートを開催予定です。ぜひ、生の演奏や朗読を味わいにいらっしやいませんか。お待ちしております。



NHKアナウンサーによる朗読

第2回 10月19日(日)  
第3回 12月21日(日)





# イベントのご案内

## 「次世代につなぐ『みやざきの言の葉』継承事業」

県立図書館では「次世代につなぐ『みやざきの言の葉』継承事業」を行っています。本県は言語文化の宝庫であり、宮崎に伝わる神話・伝承等、本県の価値ある言語文化を県民総ぐるみで次世代に語り継ぐ活動を推進しています。今年度も、「みやざきの言の葉」語り部養成講座（シニア世代や読書活動ボランティア等対象）や講演会、巡回展等を開催します。※詳細につきましては県立図書館のホームページをご覧ください。

## 「みどりの図書館フェスタ」

今年も、年に1度の県立図書館最大のイベント「みどりの図書館フェスタ」を行います。今年も、さまざまなイベントを企画し、お待ちしております。どうぞお楽しみに！！

**みどりの図書館フェスタ**  
平成26年11月3日(月・文化の日)10時30分から

## 「図書館子ども映写会」・「図書館シアター」

県民の皆様の生涯学習と子どもたちの情操教育に役立てるため、大人向けと子ども向けの映写会を実施します。以下は今後の日程です。

ぜひ、図書館で素敵な時間をお過ごしください。

※詳細につきましては、県立図書館のホームページや館内のちらし等をご覧ください。

※全て無料、申し込みも不要です。

### ▶図書館子ども映写会 午前10時から

7/20(日) 8/24(日) 9/21(日) 10/26(日)  
11/16(日) 12/14(日) 1/18(日) 2/22(日)

### ▶図書館シアター 午後1時30分から

6/27(金) 7/11(金) 7/20(日) 8/ 8(金)  
8/24(日) 9/21(日) 10/26(日) 11/16(日)  
11/28(金) 12/14(日) 1/18(日) 2/ 6(金)  
2/22(日)

# 「図書館ブログ」をご存じですか!?

県立図書館では、情報発信の場の1つとして、ホームページを開設しています。ご覧になったことがあるでしょうか？ホームページでは、図書館でのイベント情報や新着本の紹介など、様々な情報を知ることができます。また、個人の貸出状況を調べたり、読みたい本を予約したりすることもでき、大変便利です。みなさんぜひご活用ください。

さて、そのホームページの中に「図書館ブログ」のサイトがあります。「図書館ブログ」は、県立図書館の職員が輪番で記事をアップしています。県立図書館の様々なイベント情報はもちろん、仕事の裏側や雑感、おすすめの本の紹介など、個性あふれる記事が盛りだくさんです。

ぜひ一度「図書館ブログ」にお立ち寄りください。県立図書館では、職員一同、「親しみやすい図書館」をめざしていきます！

ホームページには  
役立つ情報がいっぱい!



図書館ホームページのトップページ  
(<http://www.lib.pref.miyazaki.jp/>)



図書館ブログの一部

# 郷土の歴史や文化にふれてみませんか？

※ 6月中旬以降の行事を紹介します。

イベント名	日時等	会場等
<b>特別展</b> 「日向国の災害史」 <b>特別展</b> 「宮崎の新聞」 <b>企画展</b> 「佐土原藩島津家日記にみる江戸と日向国」	<b>7/15(火)～8/31(日)</b> ※下のコラムで詳細な内容紹介 <b>9/30(火)～11/24(月／祝)</b> <b>1/27(火)～3/ 8(日)</b>	2階特別展示室 開室 9:00～17:00
<b>共催展</b> NHK 大河ドラマ 「軍師官兵衛」展	<b>9/9(火)～9/15(月／祝)</b>	1階ギャラリー
<b>巡回展</b> 「江戸時代 日向国の社会と生活史」	<b>6/10(火)～ 6/29(日)</b> <b>8/ 9(土)～ 8/24(日)</b> <b>10/ 7(火)～10/26(日)</b>	日向市立図書館 日南市小村記念館 えびの市歴史民俗資料館
<b>文化講座①</b> 「宮崎の旧石器時代～東九州自動車道建設に伴う発掘調査成果から～」 <b>文化講座②</b> 「ニホンザル～日本の霊長類学は宮崎からはじまった～」 <b>文化講座③</b> 「現代文学の中の『古事記』」	<b>文化講座① 6/21(土) 13:30～15:30</b> 講師:松本茂氏(県文化財課) <b>文化講座② 7/26(土) 13:30～15:30</b> 講師:鈴木崇文氏(京都大学野生動物研究センター) <b>文化講座③ 9/27(土) 13:30～15:30</b> 講師:渡邊英理氏(宮崎公立大学准教授)	2階視聴覚室
<b>古文書講座</b> 「嶠南文庫」を読む  <b>古文書講座</b> 「萬覚書」を読む	2回目▶ <b>6/28(土) 13:30～15:30</b> 3回目▶ <b>7/24(木) 13:30～15:30</b> 講師:中元暢一氏(みやざき歴史文化館ボランティアの会長) 1回目▶ <b>10/18(土) 13:30～15:30</b> 2回目▶ <b>11/15(土) 13:30～15:30</b> 講師:大賀郁夫氏(宮崎公立大学教授)	2階視聴覚室

※参加料はすべて無料です。

## 特別展

### 「日向国の災害史」について

本県には豊かな自然があり観光資源ともなっていますが、多くの自然災害にも苦しめられてきました。宮崎県でおこった災害については、すでに1967年発行の「宮崎県災異誌」(宮崎地方気象台編集、宮崎県発行)と2006年発行の「宮崎県における災害文化の伝承」(宮崎県土木部発行)に網羅的に記されていますが、さらに実物の資料を通して災害を見ることで、その実態をより把握しやすくなります。

そこで、特別展では古代から近世における日向国の(1)地震・津波被害、(2)火山噴火、(3)土砂災害に関して、絵図や実際の火山灰、土砂災害に関する文献記録などを展示し、分かり易い解説文や災害年表をつけることで、わたしたちの先祖が経験してきた災害をより具体的に示します。

災害を予測することは困難ですが、日常の備えによって、災害を軽減することはできます。多くの県民の方々が



元禄二年(1689)日向国那珂郡南方村絵図

本展示をご覧になることで、過去の災害経験を教訓にして、防災意識を高めることにつながればと考えます。

# 新着図書案内



## 宮崎県立図書館ホームページで新着図書が検索できます

宮崎県立図書館では、毎週 100 冊前後の新刊を、選書方針に基づき購入しています。また、利用者の方や職員の推薦、これまで継続して購入しているシリーズ本や年鑑など、毎日のように新しい本が入荷しています。

図書館に所蔵している本は、館内のパソコンで調べることができます。

お探しの本が見つからないときには、県内外の図書館に所蔵があれば、そこから本を借りることができます（相互貸借サービス）。ご希望の際は、4 番カウンターにお越しください。

また、県民のみなさんに広く利用してもらおうことができるような本を、利用者の方からもご推薦いただいています。ただし、推薦していただいた本を全て購入できるわけではありませんのでご了承ください。

新着図書については、図書館のホームページの「新着図書」→「新着資料一覧」から調べることができます。  
[https://www.lib.pref.miyazaki.lg.jp/cgi-bin/Sopcssin.sh?p\\_mode=1&list\\_cnt=10](https://www.lib.pref.miyazaki.lg.jp/cgi-bin/Sopcssin.sh?p_mode=1&list_cnt=10)

## こんな本が入りました！

当館では、郷土のことが書かれた本、郷土在住の作家の本等を積極的に収集しています。新しく受け入れした郷土の本を、2 冊紹介したいと思います。図書館の一番奥にある「郷土資料室」に配架してあります。

### 「手のひらの小さな戦士」

うえきれいこ / 著 (文芸社)

授かった双子は、手のひらに乗るほどの超未熟児。幾度も危険な状態となる戦士たちと共に母も必死に闘う。2 歳 4 ヶ月までの過酷な入院生活、酸素や吸引器を常備する自宅療養、気管切開手術、障害と向き合う保育園から高等部までの生活、そして成人。著者はどんなときも喜びを見つけ、周囲のサポートを感謝して受け入れ、子どもたちの成長を見守る。子育て世代に勇気の火を灯すドキュメンタリー。



### 「九州一周駅伝 62 年の物語」

西日本新聞社運動部・企画事業局

／編 (西日本新聞社)

2013 年秋に惜しまれつつ幕を閉じた“世界最長の駅伝”九州一周駅伝。九州のランナーたちが、月に向かってまた、世界大会での活躍に向かって夢とたすきをつないだ 62 年間の物語をつづる。



## 閲覧室に新着図書コーナーを設置しています



閲覧室の入り口近くに「新着図書コーナー」を設置しています。このコーナーには、青少年向きの本、子育てや介護のような生活に密着した本、新聞やニュース等のメディアで話題の本などが展示されており、担当職員が様子を見ながら随時入れ替えを行っています。「こんな本もあるのか」「おもしろそうな本だな」と、思わず手に取ってみたいくなる本がたくさん並んでいます。図書館に来られた際には、ぜひ足を止めてご覧になってください。

使って  
便利!

# 図書館サービス

県立図書館の資料の購入には、宝くじの収益金の一部が使われています。宮崎県



## レファレンスサービス

資料をお探しのとき、何かを調べたいときは、一般閲覧室4番カウンターをご利用ください。図書館員が本の紹介や情報提供等を行っています。例えば…「郷土料理の作り方を知りたい。」「方言について調べたい」…など。

電話、FAX、電子メール等でも受け付けています。どうぞご利用ください。

## 複写サービスについて

著作権法では、著作権者の許可なく、資料を複写することができません。しかし、図書館では、次の条件を全て満たす場合に限り複写が可能です。(著作権法第31条)

- ① 図書館の資料であること
- ② 調査研究のためであること
- ③ 著作物の一部分(半分以下)であること
- ④ 利用者1人につき、1部であること

料金は次のとおりです。

白黒は1枚10円、カラーは1枚50円、  
マイクロフィルムの複写は1枚50円です。

なお、事前に申込みが必要ですので、ご希望の方は3番カウンターで申込用紙を記入してください。

## 「おはなし会」について



おはなし会の様子

児童図書室では、図書館員とボランティアの皆さんが、子どもたちに、絵本の読み聞かせ・おはなし(ストーリーテリング)を行う「おはなしのへや」を開いています。毎月第4火曜日には、NHKアナウンサーも読み聞かせを行います。

毎週火曜日 14時～14時30分(祝日は行いません)  
毎週水曜日 15時～15時30分  
毎週土曜日 **幼児向け**▶15時～15時30分  
**小学生向け**▶15時30分～16時

## 見学・職場体験・司書実習について

学校や子どもたちの学習を支援するために見学、職場体験学習、司書実習、インターンシップ等の受入を積極的に行っています。書庫など普段入れない施設等の見学や読み聞かせにも対応します。人



児童室見学の様子

数が多い場合は、グループ分けや時間帯を調整していただく場合がありますので、ご了承ください。

受け入れについては申込順となります。利用を希望される場合は2週間前までに申込みをしてください。

### 県立図書館見学のプログラム例

- ・館内施設見学(ふだん県民の皆さんが立ち入れない場所もご案内します)
- ・図書館の機能や施設・設備、蔵書数等の詳しい説明
- ・県立図書館の便利な利用の仕方の説明
- ・学校での調べ学習に関する支援

お気軽にご相談下さい!

### ご利用案内

開館時間 ■ 一般閲覧室：9:00～19:00  
(日曜・祝日は9:00～17:00)  
■ 児童図書室：9:00～17:00  
休館日 ■ 毎週月曜日(祝日の場合翌日)  
年末年始 12/29～1/4  
特別整理期間：2/9～2/16(予定)

### 編集・発行

#### ● 宮崎県立図書館

住所 ■ 〒880-0031 宮崎市船塚3丁目210番地1  
TEL ■ 0985-29-2911(総務・企画課総務担当)  
FAX ■ 0985-29-2491(総務・企画課総務担当)  
HPアドレス ■ <http://www.lib.pref.miyazaki.lg.jp>  
携帯アドレス ■ [http://www.lib.pref.miyazaki.lg.jp/i\\_index.htm](http://www.lib.pref.miyazaki.lg.jp/i_index.htm)

